

市販尿妊娠反応検査の陰性、自己判断は危険

千本産婦人科：千本英世

Q: 市販の尿妊娠反応検査で陰性だったが本当に妊娠していないのですか？

A: 妊娠していない場合は勿論陰性です。
又は排卵が遅れることがあり、この遅れた排卵時に妊娠しますと、妊娠反応が陽性になるまでの日数がその分遅れます。
よって基礎体温を測定しながら1週間後に再検査を受けてください。

以下の解説をお読みください。

尿妊娠反応検査試薬が市販されていますので、その検査法の判定の意味づけを解説してみたいと思います。

妊娠に伴って徐々に増量する尿中の妊娠反応物質（HCGと言うホルモン）の有無を調べるのが妊娠反応検査です。

月経周期28日型の婦人の場合について説明します。月経開始日より約2週目に排卵が起こり、受精－着床－妊娠の経過をたどり、妊娠満4週末（月経開始日より35

日前後)より妊娠反応が陽性となってきます。陽性となる時期は検査試薬の感度により多少遅れることもあります。

月経が1週間くらい遅れたなら産婦人科医を受診しましょう。問診、内診、尿妊娠反応検査、超音波検査等で妊娠が確定されると思います。

尿妊娠反応検査の陰性は必ずしも妊娠を否定するものではありません。検査陰性でも、後日妊娠が確定することがあります。なぜなら、通常は28日型周期の月経の人でも、時により排卵が数日～数週間遅れることがあり、この遅れた排卵時に妊娠しますと、妊娠反応が陽性になるまでの日数がその分遅れます。通常の高感度の妊娠反応検査では、妊娠満2～3週では、まだ妊娠反応陰性としか結果がでないのです。

月経が遅れている場合は、尿妊娠反応検査陰性でも1～2週後に再検査が必要です。

枯死卵(流産)や子宮外妊娠等の異常妊娠でも尿中妊娠反応物質(HCG)の濃度が低く、高感度の妊娠反応診断薬でしか陽性に出ない場合もありますので、勝手な自己判断をせずに早めに産婦人科医を受診してください。

月経不順の方は最終月経より妊娠確定までの日数が長引きます。基礎体温測定が早期診断の助けになります。